

## 図23. 肝臓病患者さんの悩み

長崎医療センター八橋 弘

### 若くて職業を持っておられる患者さんの悩みとは、

ある程度収入はあるものの、治療と仕事、家庭生活との両立の問題、治療に専念できる時間が確保できないこと、社会からの偏見、結婚、恋愛に関する悩みが多い。

### 60歳以上の年金暮らしの患者さんの悩みとは、

時間はあるものの年金、貯金を崩しながら治療費をなんとか確保されていること、また高齢化し、病状が進行していること、核家族化の影響で身近に介護者がいないこと、通院への交通手段の確保などの悩みが多い。

患者の年齢層(C型は高齢者、B型は若年者)、病期の進行度(慢性肝炎、肝硬変、肝癌)、収入の状況によって、患者が抱え込んでいる悩みは異なることから、個々の患者ごとに、これらの患者の背景因子を十分、考慮した上で医療従事者として対処する必要がある。

今回、人間関係、社会状況も含めて、肝疾患患者の相談支援システムを構築できないか検討した。今回の調査で把握できた自由記述内容を、肝疾患患者の多様性に合わせて分類し、匿名化した状態でかつ個人的な内容を削除した状態でのデータベースを作成した。今後は、医療相談員を対象として、そのデータベースを参照できるアプリを構築することを予定している。相談員は、個々の肝疾患患者に対する理解度を高めた上で相談支援

を行うことを目指したものであり、また、このアプリは相談員の自己学習用としても活用可能なものを想定している。

最後に、肝疾患患者さんの悩みや置かれている状況は多様性を呈している。個々の患者の置かれた背景を十分理解した上で相談支援を行うことが大切である(図24、25)。

別紙3はデータマイニング解析で分類を行った、患者自由記述のB型軽症(CR/CH)の事例である。

図24. 相談支援システムの構築-肝疾患患者相談支援アプリ

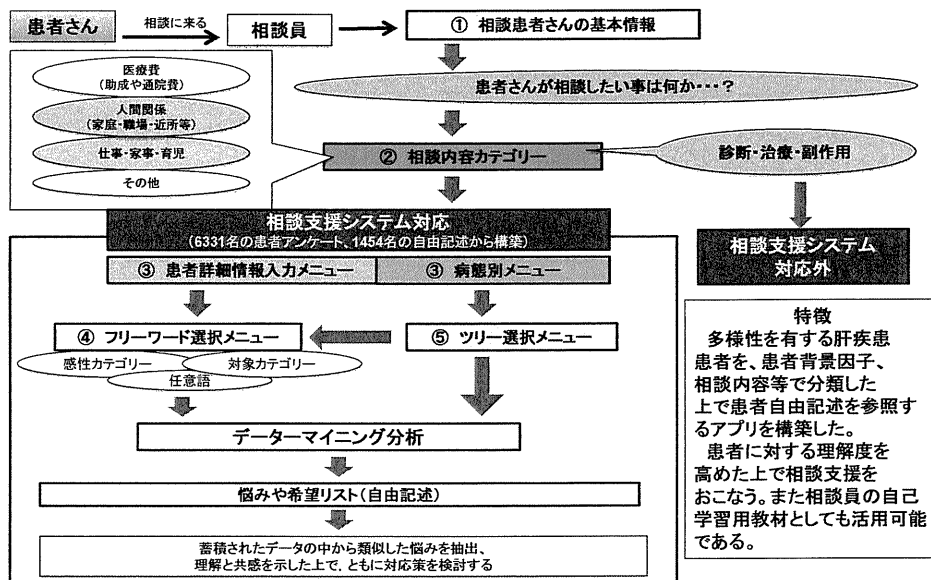
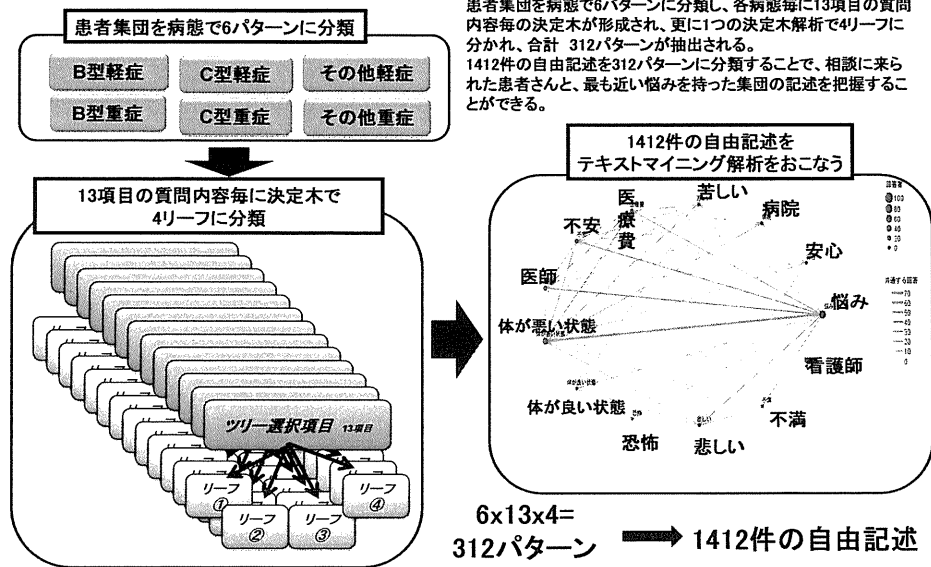


図25. 相談支援システムの構築—肝疾患患者相談支援アプリ



### C-2. 医師向けアンケート調査

35施設の医師を対象に肝疾患以外の患者に対する肝炎検査結果の説明に関する意識調査を実施したところ、2012年12月末までに3,239名の医師に調査用紙を配布し、2,419名（回収率74.7%）から調査用紙が回収された。回収された用紙には空白、記入なしのものが含まれていたため、それらを除いた有効な回答者は2,333名（有効回答率72.0%）であった。別紙5に集計結果を示す。

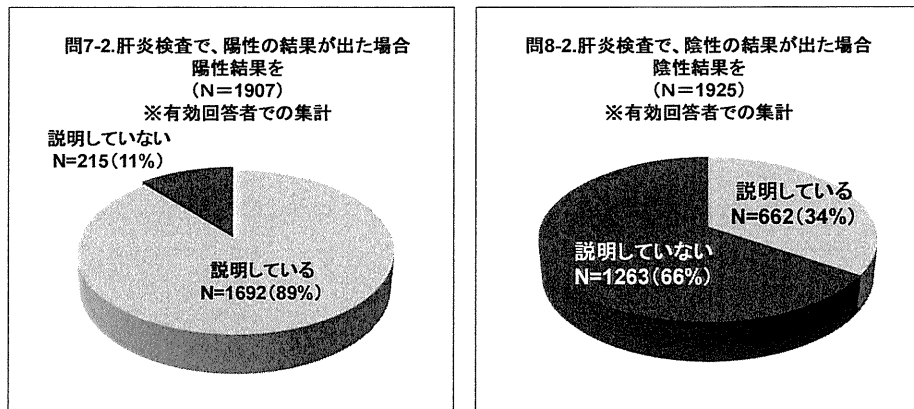
肝疾患以外の患者に対する肝炎検査を行ったことがあり、なおかつ、肝炎検査で陽性

の結果が出た場合に陽性結果を説明しているか、もしくは、していない、のいずれかを選択した1,907名を対象として検討すると、陽性の結果が出た場合に患者に陽性結果を説明していると回答した者は1,692名（89%）で、説明していないと回答した者は215名（11%）であった。

一方、陰性結果が出た場合に患者に陰性結果を説明していると回答した者は662名（34%）で、説明していないと回答した者は、1,262名（66%）であった（図26）。

図26. 肝疾患以外の患者に対する肝炎検査結果の説明に関する意識調査結果

35施設の医療従事者を対象に肝疾患以外の患者に対する肝炎検査結果の説明に関する意識調査を実施した。3239名の医師に調査用紙を配布し2333名から有効な回答があった。有効回答率72.0%。調査結果をデータベース化し集計、解析をおこなった。



### C-3. ペグインターフェロン/リバビリン (PegIFN/RBV) 治療導入症例の治療後の経過、肝発がんに関する検討

ペグインターフェロン/リバビリン (PegIFN/RBV) 治療の導入を行ったHCV 1型高ウイルス症例1,986例中、SVR判定が可能で治療前後の検査値の揃った1,482例を対

象に、その後の肝発がんの有無、発がん率、発がんに寄与する因子を検討した。

PegIFN/RBV治療導入症例1,482例の治療後の経過観察期間は平均5.1年である。1,482例中、SVR判定例は 706例(47.6%)、Non-SVR判定例は 776例(52.4%)であった(図27)。

図27. 背景

症例数	1482
男性 n (%)	732 (49.2)
年齢中央値(才)	60 (18- 82)
初回治療n(%)	934 (63.0)
AST中央値 (IU/mL)	47 (14-329)
ALT中央値 (IU/mL)	56 (7 - 489)
PLT中央値(万)	15.9 (4 - 86)
FIB-4中央値	2.45 (0.27 - 28.79)
AFP中央値 (ng/mL)	5.0 (1 - 568)
SVR n (%)	706 (47.6)
観察期間中央値 (年)	5.1 (0.2 - 8.8)

観察期間中の発癌例:135例(9.1%)

1,482例中、観察期間内に肝がん (HCC) 発生例は135例 (9.1%) であった。1,482例を対象として発がんに寄与する因子を検討したところ、多変量解析で有意となった因子

は、治療効果 (SVRか否か)、FIB-4、AFP値、治療導入時の年齢、性、臨床診断 (肝硬変の有無)、であった (図28)。

図28. C型慢性肝炎PegIFN/RBV治療後の発癌寄与因子

	Risk factor	Hazard ratio	P value
IFN	Non-SVR	1	
	SVR	0.359 (0.222 - 0.581)	0.000
FIB-4	<1.45	1	
	1.45 - 3.75	3.173 (0.966 - 10.424)	0.057
	>3.75	6.612 (2.008 - 21.767)	0.002
AFP	< 6 ng/ mL	1	
	≥ 6 ng/ mL	2.538 (1.544 - 4.172)	0.000
Age	< 60 years	1	
	≥ 60 years	1.827 (1.248 - 2.676)	0.002
Sex	female	1	
	male	3.050 (2.116 - 4.396)	0.000
Clinical stage	non-cirrhosis	1	
	cirrhosis	2.933 (1.991 - 4.322)	0.000

代表的な因子 (IFN治療効果別、治療開始時年齢別、治療開始時FIB-4値層別、線維化ステージ別、治療前FIB-4値層別、臨床病態

別) に累積肝発癌率を算出し、グラフ化した (図29~34)。

図29. C型慢性肝炎PegIFN/RBV治療後の累積発癌率  
治療効果別

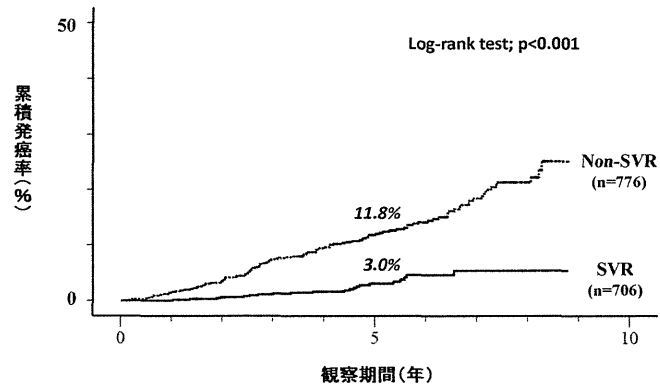


図30. C型慢性肝炎PegIFN/RBV治療後の累積発癌率  
治療開始時年齢層別

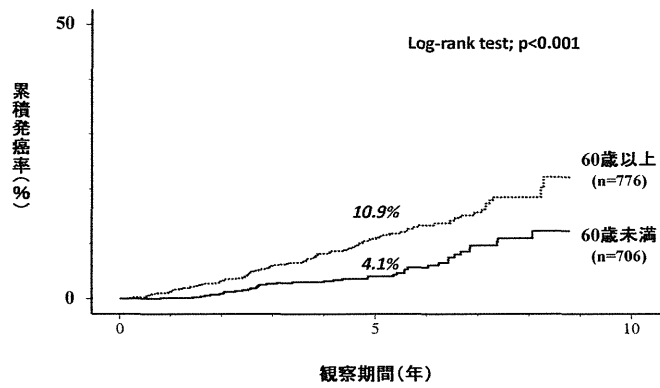


図31. C型慢性肝炎PegIFN/RBV治療後の累積発癌率  
治療前FIB-4値層別化

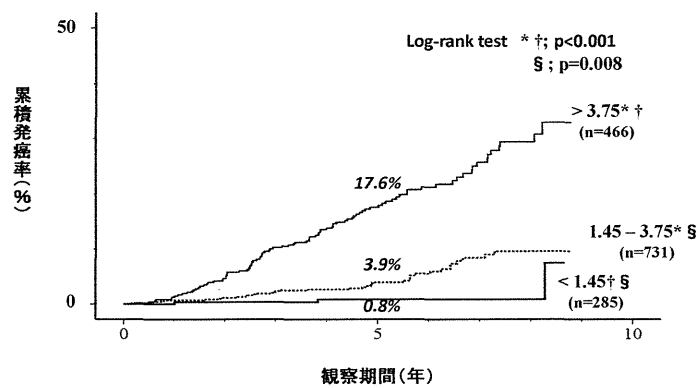


図32. C型慢性肝炎PegIFN/RBV治療後の累積発癌率  
肝線維化ステージ別

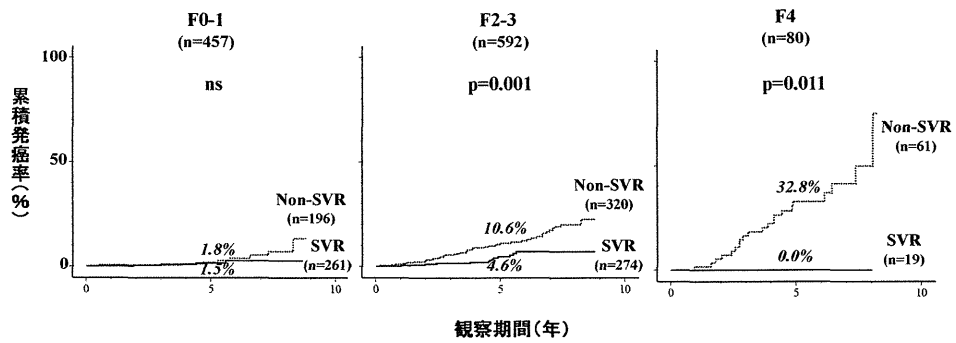


図33. C型慢性肝炎PegIFN/RBV治療後の累積発癌率  
治療前FIB-4値層別化

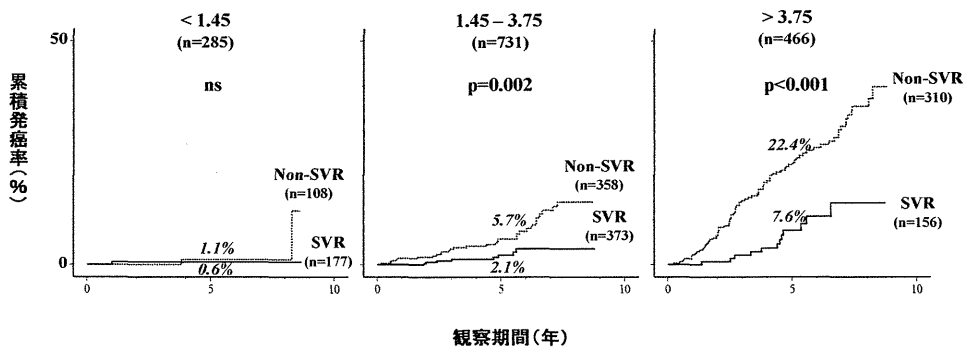
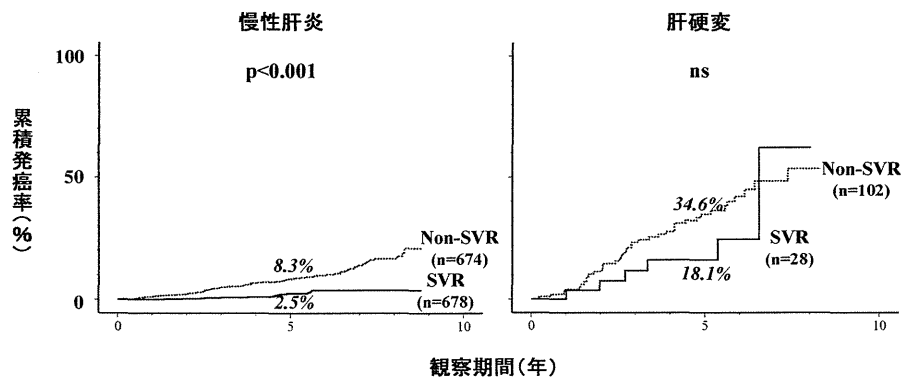


図34. C型慢性肝炎PegIFN/RBV治療後の累積発癌率  
臨床病態別



次にSVR判定 706例を対象として発がんに寄与する因子を検討したところ、多変量解

析で有意となった因子は、年齢と臨床診断（肝硬変の有無）、であった（図35）。

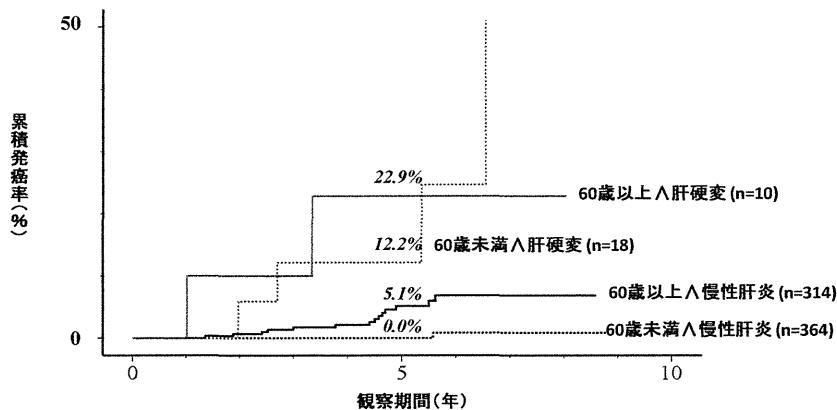
図35. C型慢性肝炎PegIFN/RBV治療SVR後の発癌寄与因子

	Risk factor	Hazard ratio	P value
Age	< 60 years	1	
	≥ 60 years	4.391 (1.583 – 12.183)	0.004
Clinical stage	non-cirrhosis	1	
	cirrhosis	9.292 (3.314 – 26.057)	0.000

SVR後の累積発癌率について、治療導入時年齢と臨床病態で4群に区分して検討を行った。5年目の累積発癌率は、60歳未満で慢性肝炎の場合は0%、60歳以上で慢性肝炎の場

合は5.1%、60歳未満で肝硬変の場合は12.2%、60歳以上で肝硬変の場合は22.9%であった（図36）。

図36. SVR後の累積発癌率



#### C-4. 急性肝炎調査

国立病院機構肝疾患ネットワーク参加33施設内での2013年の散発性急性肝炎の発生数（頻度）は、A型9例（10.3%）、B型31例（35.6%）、C型11例（12.6%）、非A非B非C型36例（41.3%）であった。1980年から2013年までの過去34年間に、国立病院機構肝疾患ネットワーク参加34施設内で散発性急性肝炎として登録された症例数は4,766例で、うちA型が1,633例（34.3%）、B型が1,394例（29.2%）、C型が420例（8.8%）、非A非B

非C型肝炎が1,319例（27.7%）であった。詳細については別紙報告書に記載した。

#### D. 考察

##### D-1. 肝疾患患者実態調査

34施設に通院治療を行っている肝疾患患者9,952名に患者アンケートを配布し、6,331名から郵送でアンケートを回収することができた。回収率は63.6%であり、他のアンケート調査での回収率に比較して本アンケート調査の回収率は高い率であった。設問数が

多く、また答えにくい設問も多く含まれていたにもかかわらず、多くの患者さん達にご協力いただいたことに深謝したい。

今回の解析では、データマイニング解析と統計解析と異なる手法で分析を行っても、肝疾患患者の悩みストレスを構成する主な要因として、ともに共通していた最も重要な因子は、仕事・家事を減らした、内容変更した、辞めたというエピソードであり、2番目に差別を受けた経験、3番目が、月の医療費、ウイルスが残っているかどうか、入院回数等であった。

上記のような数量的な解析結果に加えて、自由記述から考察できた側面も加味して、肝疾患患者の悩みストレスについて年齢層で区分して、下記のように考察した。

若くて職業を持っておられる患者の悩みというのは、ある程度収入はあるものの治療と仕事、家庭生活との両立の問題、治療に専念できる時間を確保できないこと、社会からの偏見、結婚・恋愛に関しての悩みが多いと考えられる。

60歳以上の年金暮らしの患者の悩みは、時間はあるものの、年金・貯金を崩しながら治療費を何とか確保されていること、また、高齢化し、病状が進行していること、核家族の影響で身近に介護者がいないこと、通院への交通手段の確保がないという悩みが多いと考えられる。

肝疾患患者の悩みストレスは多様性を呈しており、年齢層、C型肝炎の方は高齢、B型肝炎の方は若い、病気の進行度、慢性肝炎、肝硬変、肝癌、収入の状況によって悩みストレスの頻度、程度が異なる。図14に示すように、肝疾患患者の相談相手が限られていること、また個々の患者ごとに背景因子が異なる等を十分考慮した上で医療従事者として肝疾患患者に向き合うべきと考える。

今回、人間関係、社会状況も含めて、肝疾患患者の相談支援システムを構築できない

か検討した。今回の調査で把握できた自由記述内容を、肝疾患患者の多様性に合わせて分類し、匿名化した状態でかつ個人的な内容を削除した状態でのデータベースを作成した。今後は、医療相談員を対象として、そのデータベースを参照できるアプリを構築することを予定している。相談員は、個々の肝疾患患者に対する理解度を高めた上で相談支援を行うことを目指したものであり、また、このアプリは相談員の自己学習用としても活用可能なものを想定している。

最後に、肝疾患患者さんの悩みや置かれている状況は多様性を呈している。個々の患者の置かれた背景を十分理解した上で相談支援を行うことが大切である。

## D-2. 医師向けアンケート調査

35施設の医療従事者を対象に肝疾患以外の患者に対する肝炎検査結果の説明に関する意識調査を実施した。3,239名の医師に調査用紙を配布し有効な回答者は2,333名（有効回答率72.0%）であった。

肝疾患以外の患者に対する肝炎検査で陽性の結果が出た場合に陽性結果を説明していると回答した者の頻度は89%で、説明していないと回答した者の頻度は11%であった。

一方、陰性結果が出た場合に患者に陰性結果を説明していると回答した者の頻度は34%で、説明していないと回答した者の頻度は66%であった。

検査を受けた患者の立場からは、肝炎検査の陽性、陰性の結果に関係なく、全ての医療情報の開示、説明を患者は受けるべきと考える。しかしながら、実際の医療現場では、個々の検査所見に異常がない場合には、包括的に（異常所見がない）とか（問題ない）と患者に説明している状況は多い。また肝疾患以外の患者に対して肝炎検査をおこなう目的についても医者ごとに見識が異なっていることなどが想像され、それらのことが、今回の

調査結果に反映されていると考えられた。

現在、B型肝炎、C型肝炎からの肝癌発生が、医学的にも、社会的にも問題となっている我が国では、そのハイリスク者の早期発見、早期治療介入の観点からも、一生に一度は肝炎検査を受診することが推奨されている。また、仮に検診などで肝炎検査を受診した場合でも、受診者が、その検査結果を正確に理解していない場合も多く、同じ肝炎検査を繰り返し受診している場合も少なくないことが想定される。以上のことから、今後、肝疾患以外の患者に対して実施した肝炎検査結果については、陽性陰性の結果にかかわらず、検査を実施した医療機関において、患者に対して明確に検査結果を説明し、理解いただくことが望ましいと考えられた。

#### D-3. ペグインターフェロン/リバビリン (PegIFN/RBV) 治療導入症例の治療後の経過、肝発がんに関する検討

ペグインターフェロン/リバビリン (PegIFN/RBV) 治療の導入を行ったHCV 1型高ウイルス症例1,986例中、SVR判定が可能で治療前後の検査値の揃った1,482例を対象に、発がんに寄与する因子を検討したところ、多変量解析で有意となった因子は、治療効果 (SVRか否か)、FIB-4、AFP値、治療導入時の年齢、性、臨床診断 (肝硬変の有無)、であった。また、SVR判定 706例を対象として発がんに寄与する因子を検討したところ、多変量解析で有意となった因子は年齢と臨床診断 (肝硬変の有無) であった。SVR判定が得られても60歳以上で肝硬変の場合の5年目の累積発癌率は22.9%と高く、高齢者でかつ肝硬変症例ではSVRとなってもその後肝癌の発生を年頭に経過を観察する必要があると考えられた。

#### D-4. 急性肝炎調査

別紙報告書参照 (別紙6)。

## E. 結果・まとめ

### E-1. 肝疾患患者実態調査

34施設に通院治療を行っている肝疾患患者9,952名に患者アンケートを配布し6,331名 (アンケート回収率63.6%) からアンケートを回収した。データマイニング解析と統計解析と異なる手法で分析を行っても、肝疾患患者の悩みストレスを構成する主要因として、ともに共通していた最も重要な因子は、仕事・家事を減らした、内容変更した、辞めたというエピソードであり、2番目に差別を受けた経験、3番目が、月の医療費、ウイルスが残っているかどうか、入院回数等であった。肝疾患患者さんの悩みストレスは多様性を呈しており、年齢層、C型肝炎の方は高齢、B型肝炎の方は若い、病気の進行度、慢性肝炎、肝硬変、肝癌、収入の状況によって悩みストレスの頻度、程度が異なる。肝疾患患者の相談相手が限られていること、また個々の患者ごとに背景因子が異なる等を十分考慮した上で医療従事者として肝疾患患者に向き合うべきと考える。

### E-2. 医師向けアンケート調査

35施設の3,239名の医師を対象に肝疾患以外の患者に対する肝炎検査結果の説明に関する意識調査を実施した (有効回答率72.0%)。肝疾患以外の患者に対する肝炎検査で陽性の結果が出た場合に陽性結果を説明していると回答した者の頻度は89%で、陰性結果が出た場合に患者に陰性結果を説明していると回答した者の頻度は34%であった。

### E-3. ペグインターフェロン/リバビリン (PegIFN/RBV) 治療導入症例の治療後の経過、肝発がんに関する検討

ペグインターフェロン/リバビリン (PegIFN/RBV) 治療導入後、SVR判定がえられても60歳以上で肝硬変の場合の5年目



の累積発癌率は22.9%と高く、高齢者でかつ肝硬変症例ではSVRとなってもその後も肝癌の発生を年頭に経過を観察する必要があると考えられた。

#### E-4. 急性肝炎調査

国立病院機構肝疾患ネットワーク参加33施設内での2013年の散発性急性肝炎の発生数(頻度)は、A型9例(10.3%)、B型31例(35.6%)、C型11例(12.6%)、非A非B非C型36例(41.3%)であった。1980年から2013年までの過去34年間に、国立病院機構肝疾患ネットワーク参加34施設内で散発性急性肝炎として登録された症例数は4,766例で、うちA型が1,633例(34.3%)、B型が1,394例(29.2%)、C型が420例(8.8%)、非A非B非C型肝炎が1,319例(27.7%)であった。

#### F. 健康危険情報

なし。

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

1) Tamada Y, Yatsushashi H, Masaki N, Nakamuta M, Mita E, Komatsu T, Watanabe Y, Muro T, Shimada M, Hijioka T, Satoh T, Mano Y, Komeda T, Takahashi M, Kohno H, Ota H, Hayashi S, Miyakawa Y, Abiru S, Ishibashi H. Hepatitis B virus strains of subgenotype A2 with an identical sequence spreading rapidly from the capital region to all over Japan in patients with acute hepatitis B. Gut. 2011  
2) Yatsushashi H, Ohnishi Y, Nakayama S, Iwase H, Nakamura T, Imawari M. Anti-hypoalbuminemic effect of branched-chain amino acid granules in patients with liver cirrhosis is independent of dietary energy and protein intake. Hepatol Res. 41 (11): 1027-1035,

2011

3) Kurokawa M, Hiramatsu N, Oze T, Yakushijin T, Miyazaki M, Hosui A, Miyagi T, Yoshida Y, Ishida H, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Iio S, Doi Y, Yamada A, Oshita M, Kaneko A, Mochizuki K, Hagiwara H, Mita E, Ito T, Inui Y, Katayama K, Yoshihara H, Imai Y, Hayashi E, Hayashi N, Takehara T. Long-term effect of lamivudine treatment on the incidence of hepatocellular carcinoma in patients with hepatitis B virus infection. J Gastroenterol. 47 (5): 577-85, 2012

4) Oze T, Hiramatsu N, Song C, Yakushijin T, Iio S, Doi Y, Oshita M, Hagiwara H, Mita E, Ito T, Inui Y, Hijioka T, Tamura S, Yoshihara H, Inoue A, Imai Y, Hayashi E, Kato M, Miyazaki M, Hosui A, Miyagi T, Yoshida Y, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Hayashi N, Takehara T. Reducing Peg-IFN doses causes later virologic response or no response in HCV genotype 1 patients treated with Peg-IFN alfa-2b plus ribavirin. J Gastroenterol. 2011

5) Kanto T, Inoue M, Oze T, Miyazaki M, Sakakibara M, Kakita N, Matsubara T, Higashitani K, Hagiwara H, Iio S, Katayama K, Mita E, Kasahara A, Hiramatsu N, Takehara T, Hayashi N. Dynamics of regulatory T cells and plasmacytoid dendritic cells as immune markers for virological response in pegylated interferon- $\alpha$  and ribavirin therapy for chronic hepatitis C patients. J Gastroenterol. 2011

6) Hiramatsu N, Inoue Y, Oze T, Kurashige N, Yakushijin T, Mochizuki K, Miyagi T, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T,

Kasahara A, Takehara T, Oshita M, Mita E, Hagiwara H, Inui Y, Katayama K, Tamura S, Yoshihara H, Imai Y, Hayashi N. Efficacy of pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for hepatitis C patients with normal ALT levels: a matched case-control study. *J Gastroenterol.* 46: 1335-1343, 2011

7) Oze T, Hiramatsu N, Yakushijin T, Mochizuki K, Imanaka K, Yamada A, Oshita M, Kaneko A, Hagiwara H, Mita E, Ito T, Nagase T, Inui Y, Hijioka T, Tamura S, Yoshihara H, Hayashi E, Imai Y, Kato M, Hosui A, Miyagi T, Yoshida Y, Ishida H, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Takehara T, Hayashi N. Efficacy of re-treatment with pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for patients with chronic hepatitis C in Japan. *J Gastroenterol.* 46: 1031-1037, 2011

8) Oze T, Hiramatsu N, Yakushijin T, Mochizuki K, Oshita M, Hagiwara H, Mita E, Ito T, Fukui H, Inui Y, Hijioka T, Inada M, Kaytayama K, Tamura S, Yoshihara H, Inoue A, Imai Y, Kato M, Miyagi T, Yoshida Y, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Takehara T, and Hayashi N. Indications and limitations for aged patients with chronic hepatitis C in pegylated interferon alfa-2b plus ribavirin combination therapy. *J Hepatol.* 54: 604-611, 2011

9) Inoue Y, Hiramatsu N, Oze T, Yakushijin T, Mochizuki K, Fukuda K, Mita E, Haruna Y, Inoue A, Imai Y, Hosui A, Miyagi T, Yoshida Y, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Takehara T, and Hayashi N. Amino acid substitution in the core protein has no impact on relapse in hepatitis C genotype 1 patients treated

with peginterferon and ribavirin. *J Med Virol.* 83: 419-427, 2011

10) 三田英治. C型肝炎 Hepatitis C among HIV-infected patients. *HIV感染症とAIDSの治療.* 2 (2) : 37-42, 2011

11) H. Kohno, H. Kouno, S. Aimitsu, Y. Aisaka, M. Kitamoto, H. Kawakami, K. Chayama. Impact of ribavirin dose reduction on the efficacy of pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for elderly patients infected with genotype 1b and high viral loads. *Hepatol Res.* 41: 626-634, 2011

12) 平嶋 昇, 岩瀬弘明, 都築智之, 神谷麻子, 横井美咲, 斎藤雅之, 玉置 大, 龍華庸光, 日比野佑介, 島田昌明, 後藤秀実. 前インターフェロン非治療の1b高ウイルス量C型慢性肝炎に対する二重濾過血漿交換併用ペグインターフェロン・リバビリン療法(第2報). *肝臓.* 52 (9) : 575-583, 2011

13) 平嶋 昇, 浦岡正尚, 神谷麻子, 横井美咲, 斎藤雅之, 玉置 大, 龍華庸光, 渡邊久倫, 日比野佑介, 島田昌明, 都築智之, 岩瀬弘明. 発症2カ月で慢性肝炎の組織像を呈しインターフェロンで治療したHBV Genotype A急性肝炎の1例. *医療.* 65 (8) : 451-455, 2011

14) Taura N, Ichikawa T, Miyaaki H, Yatsushashi H, Ishibashi H, Nakao K. Prevalence of type 2 diabetes mellitus in Japanese patients with hepatocellular carcinoma. *Exp Ther Med.* 2 (1): 81-84, 2011

15) Taura N, Fukushima N, Yatsushashi H, Takami Y, Seike M, Watanabe H, Mizuta T, Sasaki Y, Nagata K, Tabara A, Komorizono Y, Taketomi A, Matsumoto S, Tamai T, Muro T, Nakao K, Fukuizumi K, Maeshiro T, Inoue O, Sata M. The incidence of hepatocellular carcinoma

associated with hepatitis C infection decreased in Kyushu area. *Med Sci Monit.* 17 (2): PH7-11, 2011

16) Kawaguchi T, Kakuma T, Yatsushashi H, Watanabe H, Saitsu H, Nakao K, Taketomi A, Ohta S, Tabaru A, Takenaka K, Mizuta T, Nagata K, Komorizono Y, Fukuizumi K, Seike M, Matsumoto S, Maeshiro T, Tsubouchi H, Muro T, Inoue O, Akahoshi M, Sata M. Data mining reveals complex interactions of risk factors and clinical feature profiling associated with the staging of non-hepatitis B virus/non-hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma. *Hepatol Res.* 41 (6): 564-571, 2011

17) Miyaaki H, Ichikawa T, Taura N, Miuma S, Shibata H, Isomoto H, Takeshima F, Nakao K. Predictive value of the fibrosis scores in patients with chronic hepatitis C associated with liver fibrosis and metabolic syndrome. *Intern Med.* 50 (11): 1137-1141, 2011

18) Hidaka M, Takatsuki M, Soyama A, Miyaaki H, Ichikawa T, Nakao K, Kanematsu T, Eguchi S. Living donor liver transplantation from a donor previously treated with interferon for hepatitis C virus: a case report. *J Med Case Reports.* 5: 276, 2011

19) Ozawa E, Abiru S, Nagaoka S, Yano K, Komori A, Migita K, Yatsushashi H, Taura N, Ichikawa T, Ishibashi H, Nakao K. Ferritin/alanine aminotransferase ratio as a possible marker for predicting the prognosis of acute liver injury. *J Gastroenterol Hepatol.* 26 (8): 1326-1332, 2011

20) Ichikawa T, Taura N, Miyaaki H, Matsuzaki M, Eguchi S, Takatsuki M,

Kanematsu T, Nakao K. Successful pegylated interferon alpha2a monotherapy for hepatitis C virus infection in a transplanted patient who relapsed after the preceding course. *Transpl Infect Dis.* 13 (4): 438-440, 2011

21) Miyaaki H, Ichikawa T, Taura N, Miuma S, Kawaguchi M, Kohno R, Isomoto H, Takeshima F, Nakashima O, Nakao K. Imaging of focal nodular hyperplastic-like nodules in alcoholic liver cirrhosis patients using gadolinium-ethoxybenzyl-diethylenetriamine pentaacetic acid magnetic resonance imaging. *Clin J Gastroenterol.* 4 (4): 266-272, 2011

22) Honda T, Miyaaki H, Ichikawa T, Taura N, Miuma S, Shibata H, Isomoto H, Takeshima F, Nakao K. Clinical characteristics of hepatocellular carcinoma in elderly patients. *Oncol Lett.* 2 (5): 851-854, 2011

23) Miyaaki H, Ichikawa T, Yatsushashi H, Taura N, Miuma S, Usui T, Mori S, Kamihira S, Tanaka Y, Mizokami M, Nakao K. Suppressor of cytokine signal 3 and IL28 genetic variation predict the viral response to peginterferon and ribavirin. *Hepatol Res.* 41 (12): 1216-1222, 2011

24) Akiba J, Murakami Y, Noda M, Watari K, Ogasawara S, Yoshida T, Kawahara A, Sanada S, Yasumoto M, Yamaguchi R, Kage M, Kuwano M, Ono M, Yano H. N-myc downstream regulated gene1/Cap43 overexpression suppresses tumor growth by hepatic cancer cells through cell cycle arrest at the G0/G1 phase. *Cancer Lett.* 310: 25-34, 2011

25) Iwamoto H, Torimura T, Nakamura T, Hashimoto O, Inoue K, Kurogi J, Niizeki T,

- Kuwahara R, Abe M, Koga H, Yano H, Kerbel RS, Ueno T, Sata M. Metronomic S-1 chemotherapy and vandetanib: an efficacious and nontoxic treatment for hepatocellular carcinoma. *Neoplasia*. 13 (3): 187-197, 2011
- 26) Bae SK, Yatsuhashi H, Hashimoto S, Motoyoshi Y, Ozawa E, Nagaoka S, Abiru S, Komori A, Migita K, Nakamura M, Ito M, Miyakawa Y, Ishibashi H. Prediction of early HBeAg seroconversion by decreased titers of HBeAg in the serum combined with increased grades of lobular inflammation in the liver. *Med Sci Monit*. 18 (12):CR698-705, 2012
- 27) Watanabe T, Sugauchi F, Tanaka Y, Matsuura K, Yatsuhashi H, Murakami S, Iijima S, Iio E, Sugiyama M, Shimada T, Kakuni M, Kohara M, Mizokami M. Hepatitis C virus kinetics by administration of pegylated interferon- $\alpha$  in human and chimeric mice carrying human hepatocytes with variants of the IL28B gene. *Gut* 2012
- 28) Izumi N, Asahina Y, Kurosaki M, Yamada G, Kawai T, Kajiwara E, Okamura Y, Takeuchi T, Yokosuka O, Kariyama K, Toyoda J, Inao M, Tanaka E, Moriwaki H, Adachi H, Katsushima S, Kudo M, Takaguchi K, Hiasa Y, Chayama K, Yatsuhashi H, Oketani M, Kumada H. Inhibition of hepatocellular carcinoma by PegIFN $\alpha$ -2a in patients with chronic hepatitis C: a nationwide multicenter cooperative study. *J Gastroenterol*. 2012
- 29) Nakamura M, Nishida N, Kawashima M, Aiba Y, Tanaka A, Yasunami M, Nakamura H, Komori A, Nakamuta M, Zeniya M, Hashimoto E, Ohira H, Yamamoto K, Onji M, Kaneko S, Honda M, Yamagiwa S, Nakao K, Ichida T, Takikawa H, Seike M, Umemura T, Ueno Y, Sakisaka S, Kikuchi K, Ebinuma H, Yamashiki N, Tamura S, Sugawara Y, Mori A, Yagi S, Shirabe K, Taketomi A, Arai K, Monoe K, Ichikawa T, Taniai M, Miyake Y, Kumagi T, Abe M, Yoshizawa K, Joshita S, Shimoda S, Honda K, Takahashi H, Hirano K, Takeyama Y, Harada K, Migita K, Ito M, Yatsuhashi H, Fukushima N, Ota H, Komatsu T, Saoshiro T, Ishida J, Kouno H, Kouno H, Yagura M, Kobayashi M, Muro T, Masaki N, Hirata K, Watanabe Y, Nakamura Y, Shimada M, Hirashima N, Komeda T, Sugi K, Koga M, Ario K, Takesaki E, Maehara Y, Uemoto S, Kokudo N, Tsubouchi H, Mizokami M, Nakanuma Y, Tokunaga K, Ishibashi H. Genome-wide Association Study Identifies TNFSF15 and POU2AF1 as Susceptibility Loci for Primary Biliary Cirrhosis in the Japanese Population. *Am J Hum Genet*. 91 (4):721-8, 2012
- 30) Ueda T, Tsuchiya K, Hashimoto S, Inoue T, Inao M, Tanaka A, Kaito M, Imazaki F, Nishiguchi S, Mochida S, Yokosuka O, Yatsuhashi H, Izumi N, Kudo M, for the RETRY Study Group. Retreatment with Peginterferon  $\alpha$ -2a + Ribavirin in Patients Who Failed Previous Peginterferon  $\alpha$ -2b + Ribavirin Combination Therapy. *Dig Dis*. 30 (6):554-60, 2012
- 31) Migita K, Abiru S, Ohtani M, Jiuchi Y, Maeda Y, Bae SK, Bekki S, Hashimoto S, Yesmambetov K, Nagaoka S, Nakamura M, Komori A, Ichikawa T, Nakao K, Yatsuhashi H, Ishibashi H, Yasunami M. HLA-DP gene polymorphisms and hepatitis B infection in the Japanese population. *Transl Res*. 160 (6):443-4, 2012

- 32) Kani S, Tanaka Y, Matsuura K, Watanabe T, Yatsushashi H, Orito E, Inose K, Motojuku N, Wakimoto Y, Mizokami M. Development of new IL28B genotyping method using Invader Plus assay. *Microbiol Immunol.* 56 (5):318-23, 2012
- 33) Migita K, Watanabe Y, Jiuchi Y, Nakamura Y, Saito A, Yagura M, Ohta H, Shimada M, Mita E, Hijioka T, Yamashita H, Takezaki E, Muro T, Sakai H, Nakamuta M, Abiru S, Komori A, Ito M, Yatsushashi H, Nakamura M, Ishibashi H; the Japanese NHO-Liver- network study group. Hepatocellular carcinoma and survival in patients with autoimmune hepatitis (Japanese National Hospital Organization-autoimmune hepatitis prospective study). *Liver Int.* 32 (5):837-44, 2012
- 34) Kurosaki M, Hiramatsu N, Sakamoto M, Suzuki Y, Iwasaki M, Tamori A, Matsuura K, Kakinuma S, Sugauchi F, Sakamoto N, Nakagawa M, Yatsushashi H, Izumi N. Age and total ribavirin dose are independent predictors of relapse after interferon therapy in chronic hepatitis C revealed by data mining analysis. *Antivir Ther.* 17 (1):35-43, 2012
- 35) Matsumoto A, Tanaka E, Suzuki Y, Kobayashi M, Tanaka Y, Shinkai N, Hige S, Yatsushashi H, Nagaoka S, Chayama K, Tsuge M, Yokosuka O, Imazeki F, Nishiguchi S, Saito M, Fujiwara K, Torii N, Hiramatsu N, Karino Y, Kumada H. Combination of hepatitis B viral antigens and DNA for prediction of relapse after discontinuation of nucleos(t)ide analogs in patients with chronic hepatitis B. *Hepatol Res.* 42 (2):139-49, 2012
- 36) Kohjima M, Enjoji M, Yoshimoto T, Yada R, Fujino T, Aoyagi Y, Fukushima N, Fukuizumi K, Harada N, Yada M, Kato M, Kotoh K, Nakashima M, Sakamoto N, Tanaka Y, Nakamuta M. Add-on therapy of pitavastatin and eicosapentaenoic acid improves outcome of peginterferon plus ribavirin treatment for chronic hepatitis C. *J Med Virol.* 85 (2):250-60, 2013
- 37) Kotoh K, Fukushima M, Horikawa Y, Yamashita S, Kohjima M, Nakamuta M, Enjoji M. Serum albumin is present at higher levels in alcoholic liver cirrhosis as compared to HCV-related cirrhosis. *Exp Ther Med.* 3 (1):72-5, 2012
- 38) Enjoji M, Kohjima M, Kotoh K, Nakamuta M. Metabolic disorders and steatosis in patients with chronic hepatitis C: metabolic strategies for antiviral treatments. *Int J Hepatol.* 2012
- 39) Oze T, Hiramatsu N, Mita E, Akuta N, Sakamoto N, Nagano H, Itoh Y, Kaneko S, Izumi N, Nomura H, Hayashi N, Takehara T. A multicenter survey of re-treatment with pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for patients with chronic hepatitis C in Japan. *Hepatol Res.* 43 (1):35-43, 2013
- 40) Higashitani K, Kanto T, Kuroda S, Yoshio S, Matsubara T, Kakita N, Oze T, Miyazaki M, Sakakibara M, Hiramatsu N, Mita E, Imai Y, Kasahara A, Okuno A, Takikawa O, Hayashi N, Takehara T. Association of enhanced activity of indoleamine 2,3- dioxygenase in dendritic cells with the induction of regulatory T cells in chronic hepatitis C infection. *J Gastroenterol.* 2012
- 41) Harada N, Hiramatsu N, Oze T, Yamada R, Kurokawa M, Miyazaki M,

- Yakushijin T, Miyagi T, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Oshita M, Mita E, Hagiwara H, Inui Y, Katayama K, Tamura S, Yoshihara H, Imai Y, Inoue A, Hayashi N, Takehara T. Incidence of hepatocellular carcinoma in HCV-infected patients with normal alanine aminotransferase levels categorized by Japanese treatment guidelines. *J Gastroenterol.* 2012
- 42) Nishida N, Sawai H, Matsuura K, Sugiyama M, Ahn SH, Park JY, Hige S, Kang JH, Suzuki K, Kurosaki M, Asahina Y, Mochida S, Watanabe M, Tanaka E, Honda M, Kaneko S, Orito E, Itoh Y, Mita E, Tamori A, Murawaki Y, Hiasa Y, Sakaida I, Korenaga M, Hino K, Ide T, Kawashima M, Mawatari Y, Sageshima M, Ogasawara Y, Koike A, Izumi N, Han KH, Tanaka Y, Tokunaga K, Mizokami M. Genome-wide association study confirming association of HLA-DP with protection against chronic hepatitis B and viral clearance in Japanese and Korean. *PLoS One.* 7 (6):2012
- 43) Sawai H, Nishida N, Mbarek H, Matsuda K, Mawatari Y, Yamaoka M, Hige S, Kang JH, Abe K, Mochida S, Watanabe M, Kurosaki M, Asahina Y, Izumi N, Honda M, Kaneko S, Tanaka E, Matsuura K, Itoh Y, Mita E, Korenaga M, Hino K, Murawaki Y, Hiasa Y, Ide T, Ito K, Sugiyama M, Ahn SH, Han KH, Park JY, Yuen MF, Nakamura Y, Tanaka Y, Mizokami M, Tokunaga K. No association for Chinese HBV-related hepatocellular carcinoma susceptibility SNP in other East Asian populations. *BMC Med Genet.* 13, 2012
- 44) Toyama T, Ishida H, Ishibashi H, Yatsunami H, Nakamura M, Shimada M, Ohta H, Satoh T, Kato M, Hijioka T, Takano H, Komeda T, Yagura M, Mano H, Watanabe Y, Kobayashi M, Mita E. Long-term outcomes of add-on adefovir dipivoxil therapy to ongoing lamivudine in patients with lamivudine-resistant chronic hepatitis B. *Hepatol Res.* 42 (12):1168-74, 2012
- 45) 坂根貞嗣、榊原祐子、由雄敏之、中水流正一、外山 隆、石田 永、三田英治. Telaprevir/Peg-IFN- $\alpha$ 2b/ Ribavirin併用療法導入直後の腎機能低下機序に関する検討. *肝臓* 53 (7) : 434-5, 2012
- 46) Takaguchi K, Moriwaki H, Doyama H, Iida M, Yagura M, Shimada N, Kang M, Yamada H, Kumada H. Effects of branched-chain amino acid granules on serum albumin level and prognosis are dependent on treatment adherence in patients with liver cirrhosis. *Hepatol Res.* 2012
- 47) 正木尚彦. 肝炎をめぐる医療政策. *医学のあゆみ.* 240 (12) : 997-9, 2012
- 48) Miyagi Y, Nomura H, Yamashita N, Tanimoto H, Ito K, Masaki N, Mizokami M, Shibuya T. Estimation of two real-time RT-PCR assays for quantitation of hepatitis C virus RNA during PEG-IFN plus ribavirin therapy by HCV genotypes and IL28B genotype. *J Infect Chemother.* 19 (1):63-9, 2013
- 49) Saito H, Ito K, Sugiyama M, Matsui T, Aoki Y, Imamura M, Murata K, Masaki N, Nomura H, Adachi H, Hige S, Enomoto N, Sakamoto N, Kurosaki M, Mizokami M, Watanabe S. Factors responsible for the discrepancy between IL28B polymorphism prediction and the viral response to peginterferon plus ribavirin

- therapy in Japanese chronic hepatitis C patients. *Hepatol Res.* 42 (10):958-65, 2012
- 50) Ito K, Kuno A, Ikehara Y, Sugiyama M, Saito H, Aoki Y, Matsui T, Imamura M, Korenaga M, Murata K, Masaki N, Tanaka Y, Hige S, Izumi N, Kurosaki M, Nishiguchi S, Sakamoto M, Kage M, Narimatsu H, Mizokami M. LecT-Hepa, a glyco-marker derived from multiple lectins, as a predictor of liver fibrosis in chronic hepatitis C patients. *Hepatology* 56 (4):1448-56, 2012
- 51) Nomura H, Miyagi Y, Tanimoto H, Yamashita N, Ito K, Masaki N, Mizokami M. Increase in platelet count based on inosine triphosphatase genotype during interferon beta plus ribavirin combination therapy. *J Gastroenterol Hepatol.* 27 (9):1461-6, 2012
- 52) 都築智之, 岩瀬弘明, 島田昌明, 平嶋昇, 日比野祐介, 龍華庸光, 齋藤雅之, 玉置大, 神谷麻子, 横井美咲, 横幕能行, 藤崎誠一郎, 杉浦 互, 後藤秀実. 当院におけるHIV, HCV重複感染症例に対するペグインターフェロン, リバビリン併用療法の治療成績. *日本消化器病学会雑誌* 109 (7) : 1186-96, 2012
- 53) 杉 和洋. クリティカルパスを活用した肝臓病チーム医療の実践. *Medical QOL* 26-9 : 2013
- 54) Matsuzaki T, Ichikawa T, Kondo H, Taura N, Miyaaki H, Isomoto H, Takeshima F, Nakao K. Prevalence of restless legs syndrome in Japanese patients with chronic liver disease. *Hepatol Res.* 42 (12):1221-6, 2012
- 55) Miuma S, Ichikawa T, Arima K, Takeshita S, Muraoka T, Matsuzaki T, Ootani M, Shibata H, Akiyama M, Ozawa E, Miyaaki H, Taura N, Takeshima F, Nakao K. Branched-chain amino acid deficiency stabilizes insulin-induced vascular endothelial growth factor mRNA in hepatocellular carcinoma cells. *J Cell Biochem.* 113 (10):3113-21, 2012
- 56) Ichikawa T, Taura N, Miyaaki H, Matsuzaki T, Ohtani M, Eguchi S, Takatsuki M, Soyama A, Hidaka M, Okudaira S, Usui T, Mori S, Kamihira S, Kanematsu T, Nakao K. Human T-cell leukemia virus type 1 infection worsens prognosis of hepatitis C virus-related living donor liver transplantation. *Transpl Int.* 25 (4):433-8, 2012
- 57) Eguchi S, Hidaka M, Soyama A, Takatsuki M, Miyaaki H, Ichikawa T, Nakao K, Kanematsu T. Is liver-targeted FOXP3 staining beneficial after living-donor liver transplantation? *Transpl Infect Dis.* 14 (2):156-62, 2012
- 58) Yamaguchi T, Ichikawa T, Takeshita S, Taura N, Miyaaki H, Muraoka T, Shibata H, Honda T, Hamasaki K, Kato Y, Takeshima F, Nakao K. Anti-hepatitis C virus activity of geranylgeranylacetone treatment in hepatitis C-infected patients. *Acta Medica Nagasakiensia.* 57 (1):1-4, 2012
- 59) Takeshita S, Ichikawa T, Taura N, Miyaaki H, Matsuzaki T, Otani M, Muraoka T, Akiyama M, Miuma S, Ozawa E, Ikeda M, Kato N, Isomoto H, Takeshima F, Nakao K. Geranylgeranylacetone has anti-hepatitis C virus activity via activation of mTOR in human hepatoma cells. *J Gastroenterol.* 47 (2):195-202, 2012
- 60) Muraoka T, Ichikawa T, Taura N, Miyaaki H, Takeshita S, Akiyama M,

- Miuma S, Ozawa E, Isomoto H, Takeshima F, Nakao K. Insulin-induced mTOR activity exhibits anti-hepatitis C virus activity. *Mol Med Report*. 5 (2):331-5, 2012
- 61) Kamihira S, Usui T, Ichikawa T, Uno N, Morinaga Y, Mori S, Nagai K, Sasaki D, Hasegawa H, Yanagihara K, Honda T, Yamada Y, Iwanaga M, Kanematu T, Nakao K. Paradoxical expression of IL-28B mRNA in peripheral blood in human T-cell leukemia virus type-1 mono-infection and co-infection with hepatitis C virus. *Virol J*. 9, 2012
- 62) Otani M, Honda N, Xia PC, Eguchi K, Ichikawa T, Watanabe T, Yamaguchi K, Nakao K, Yamamoto T. Distribution of Two Subgroups of Human T-Lymphotropic Virus Type 1 (HTLV-1) in Endemic Japan. *Trop Med Health*. 40 (2):55-8, 2012
- 63) Taura N, Fukuda S, Ichikawa T, Miyaaki H, Shibata H, Honda T, Yamaguchi T, Kubota Y, Uchida S, Kamo Y, Yoshimura E, Isomoto H, Matsumoto T, Takeshima F, Tsutsumi T, Tsuruta S, Nakao K. Relationship of  $\alpha$ -fetoprotein levels and development of hepatocellular carcinoma in hepatitis C patients with liver cirrhosis. *Exp Ther Med*. 4 (6):972-6, 2012
- 64) Taura N, Ichikawa T, Miyaaki H, Kadokawa Y, Tsutsumi T, Tsuruta S, Kato Y, Inoue O, Kinoshita N, Ohba K, Kato H, Ohata K, Masuda J, Hamasaki K, Yatsushashi H, Nakao K. Baseline serum cholesterol is associated with a response to pegylated interferon alfa-2b and ribavirin therapy for chronic hepatitis C genotype 2. *Gastroenterol Res Pract*. 2012
- 65) Kondo R, Yano H, Nakashima O, Tanikawa K, Nomura Y, Kage M. Accumulation of platelets in the liver may be an important contributory factor to thrombocytopenia and liver fibrosis in chronic hepatitis C. *J Gastroenterol*. 2012
- 66) Torimura T, Ueno T, Taniguchi E, Masuda H, Iwamoto H, Nakamura T, Inoue K, Hashimoto O, Abe M, Koga H, Barresi V, Nakashima E, Yano H, Sata M. Interaction of endothelial progenitor cells expressing cytosine deaminase in tumor tissues and 5-fluorocytosine administration suppresses growth of 5-fluorouracil-sensitive liver cancer in mice. *Cancer Sci*. 103 (3):542-8, 2012
- 67) Naito Y, Kusano H, Nakashima O, Sadashima E, Hattori S, Taira T, Kawahara A, Okabe Y, Shimamatsu K, Taguchi J, Momosaki S, Irie K, Yamaguchi R, Yokomizo H, Nagamine M, Fukuda S, Sugiyama S, Nishida N, Higaki K, Yoshitomi M, Yasunaga M, Okuda K, Kinoshita H, Nakayama M, Yasumoto M, Akiba J, Kage M, Yano H. Intraductal neoplasm of the intrahepatic bile duct: clinicopathological study of 24 cases. *World J Gastroenterol*. 18 (28):3673-80, 2012
- 68) Komuta M, Govaere O, Vandecaveye V, Akiba J, Van Steenberghe W, Verslype C, Laleman W, Pirenne J, Aerts R, Yano H, Nevens F, Topal B, Roskams T. Histological diversity in cholangiocellular carcinoma reflects the different cholangiocyte phenotypes. *Hepatology* 55 (6):1876-88, 2012
- 69) Inoue K, Torimura T, Nakamura T, Iwamoto H, Masuda H, Abe M, Hashimoto O, Koga H, Ueno T, Yano H,



- Sata M. Vandetanib, an inhibitor of VEGF receptor-2 and EGF receptor, suppresses tumor development and improves prognosis of liver cancer in mice. *Clin Cancer Res.* 18 (14):3924-33, 2012
- 70) Abe M, Koga H, Yoshida T, Masuda H, Iwamoto H, Sakata M, Hanada S, Nakamura T, Taniguchi E, Kawaguchi T, Yano H, Torimura T, Ueno T, Sata M. Hepatitis C virus core protein upregulates the expression of vascular endothelial growth factor via the nuclear factor-kappaB/hypoxia-inducible factor-1alpha axis under hypoxic conditions. *Hepatology Res.* 42:591-600, 2012
- 71) Migita K, Nakamura M, Abiru S, Jiuchi Y, Nagaoka S, Komori A, Hashimoto S, Bekki S, Yamasaki K, Komatsu T, Shimada M, Kouno H, Hijioka T, Kohjima M, Nakamuta M, Kato M, Yoshizawa K, Ohta H, Nakamura Y, Takezaki E, Nishimura H, Sato T, Ario K, Hirashima N, Oohara Y, Naganuma A, Muro T, Sakai H, Mita E, Sugi K, Yamashita H, Makita F, Yatsushashi H, Ishibashi H, Yasunami M. Association of STAT4 Polymorphisms with Susceptibility to Type-1 Autoimmune Hepatitis in the Japanese Population. *PLoS One.* 8(8):e71382, 2013
- 72) Aiba Y, Harada K, Komori A, Ito M, Shimoda S, Nakamura H, Nagaoka S, Abiru S, Migita K, Ishibashi H, Nakanuma Y, Nishida N, Kawashima M, Tokunaga K, Yatsushashi H, Nakamura M. Systemic and local expression levels of TNF-like ligand 1A and its decoy receptor 3 are increased in primary biliary cirrhosis. *Liver Int.* 2013
- 73) Inamine T, Higa S, Noguchi F, Kondo S, Omagari K, Yatsushashi H, Tsukamoto K, Nakamura M. Association of genes involved in bile acid synthesis with the progression of primary biliary cirrhosis in Japanese patients. *J Gastroenterol Hepatol.* 48(10): 1160-70, 2013
- 74) Fujino T, Aoyagi Y, Takahashi M, Yada R, Yamamoto N, Ohishi Y, Nishiura A, Kohjima M, Yoshimoto T, Fukuizumi K, Nakashima M, Kato M, Kotoh K, Nakamuta M, Enjoji M. Association of ITPA polymorphism with outcomes of peginterferon- $\alpha$  plus ribavirin combination therapy. *World J Gastrointest Pharmacol Ther.* 4(3):54-60, 2013
- 75) Ogawa E, Furusyo N, Nakamuta M, Kajiwara E, Nomura H, Dohmen K, Takahashi K, Satoh T, Azuma K, Kawano A, Tanabe Y, Kotoh K, Shimoda S, Hayashi J; Kyushu University Liver Disease Study (KULDS) Group. Clinical milestones for the prediction of severe anemia by chronic hepatitis C patients receiving telaprevir-based triple therapy. *J Hepatol.* 59(4):667-74, 2013
- 76) Furusyo N, Ogawa E, Nakamuta M, Kajiwara E, Nomura H, Dohmen K, Takahashi K, Satoh T, Azuma K, Kawano A, Tanabe Y, Kotoh K, Shimoda S, Hayashi J; Kyushu University Liver Disease Study (KULDS) Group. Telaprevir can be successfully and safely used to treat older patients with genotype 1b chronic hepatitis C. *J Hepatol.* 59(2):205-12, 2013
- 77) Ogawa E, Furusyo N, Kajiwara E, Takahashi K, Nomura H, Maruyama T, Tanabe Y, Satoh T, Nakamuta M, Kotoh K, Azuma K, Dohmen K, Shimoda S,

- Hayashi J; Kyushu University Liver Disease Study (KULDS) Group. Efficacy of pegylated interferon alpha-2b and ribavirin treatment on the risk of hepatocellular carcinoma in patients with chronic hepatitis C: a prospective, multicenter study. *J Hepatol.* 58(3): 495-501, 2013
- 78) Yokoyama S, Takahashi S, Kawakami Y, C. Nelson Hayes, Kohno H, Kohno H, Tsuji K, Aisaka Y, Kira S, Yamashina K, Nonaka M, Moriya T, Kitamoto M, Aimitsu S, Nakanishi T, Kawakami H, Chayama K. Effect of vitamin D supplementation on pegylated interferon/ribavirin therapy for chronic hepatitis C genotype 1b: A randomized controlled trial. *J Viral Hepatitis.*
- 79) Ito K, Yotsuyanagi H, Yatsushashi H, Karino Y, Takikawa Y, Saito T, Arase Y, Imazeki F, Kurosaki M, Umemura T, Ichida T, Toyoda H, Yoneda M, Mita E, Yamamoto K, Michitaka K, Maeshiro T, Tanuma J, Tanaka Y, Sugiyama M, Murata K, Masaki N, Mizokami M; Japanese AHB Study Group. Risk factors for long-term persistence of serum hepatitis B surface antigen following acute hepatitis B virus infection in Japanese adults. *Hepatology* 59(1):89-97, 2014
- 80) 正木尚彦. ウイルス肝炎に関する国の対策事業、公費助成や受診勧奨など. 特集 ウイルス肝炎の新展開. *診断と治療* 101(9) : 1375-80, 2013
- 81) 正木尚彦, 斎藤英胤, 朝比奈靖浩. 鼎談: ウイルス性肝炎はまだなくならない. 成人病と生活習慣病 43(11) : 1287-304, 2013
- 82) 平嶋 昇, 小林慶子, 高橋宏尚, 喜田裕一, 久野剛史, 横井美咲, 斎藤雅之, 龍華庸光, 都築智之, 島田昌明, 岩瀬弘明. 原因不明のHBV再活性化を疑う高齢2症例. *医療* 67(2) : 70-8, 2013
- 83) Miyaaki H, Ichikawa T, Kamo Y, Taura N, Honda T, Shibata H, Milazzo M, Fornari F, Gramantieri L, Bolondi L, Nakao K. Significance of serum and hepatic microRNA-122 levels in patients with non-alcoholic fatty liver disease. *Liver Int.* 2013
- 84) Taura N, Ichikawa T, Miyaaki H, Ozawa E, Tsutsumi T, Tsuruta S, Kato Y, Goto T, Kinoshita N, Fukushima M, Kato H, Ohata K, Ohba K, Masuda J, Hamasaki K, Yatsushashi H, Nakao K. Frequency of elevated biomarkers in patients with cryptogenic hepatocellular carcinoma. *Med Sci Monit.* 19:742-50, 2013
- 85) Matsuzaki T, Tatsuki I, Otani M, Akiyama M, Ozawa E, Miuma S, Miyaaki H, Taura N, Hayashi T, Okudaira S, Takatsuki M, Isomoto H, Takeshima F, Eguchi S, Nakao K. Significance of hepatitis B virus core-related antigen and covalently closed circular DNA levels as markers of hepatitis B virus re-infection after liver transplantation. *J Gastroenterol Hepatol.* 28(7):1217-22, 2013
- 86) Nakao K, Ichikawa T. Recent topics on  $\alpha$ -fetoprotein. *Hepatol Res.* 43(8):820-5, 2013
- 87) Xu K, Lee F, Gao SJ, Chung JE, Yano H, Kurisawa M. Injectable hyaluronic acid-tyramine hydrogels incorporating interferon- $\alpha$ 2a for liver cancer therapy. *J Control Release.* 166(3):203-10, 2013
- 88) Nakayama M, Ogasawara S, Akiba J,

Ueda K, Koura K, Todoroki K, Kinoshita H, Yano H. SP cell fractions from HCC cell lines increased with tumor dedifferentiation, but lack characteristic features of CSCs. *J Gastroenterol Hepatol*. 2013

89) Kusano H, Ogasawara S, Akiba J, Nakayama M, Ueda K, Yano H. Antiproliferative effects of sorafenib and pegylated IFNalpha2b on human liver cancer cells in vitro and in vivo. *Int J Oncol*. 42(6):1897-903, 2013

90) Kusano H, Akiba J, Ogasawara S, Sanada S, Yasumoto M, Nakayama M, Ueda K, Kurita T, Todoroki K, Umeno Y, Nakashima O, Yano H. Pegylated Interferon-alpha2a Inhibits Proliferation of Human Liver Cancer Cells In Vitro and In Vivo. *PLoS One*. 8(12):e83195, 2013

91) Kondo R, Nakashima O, Sata M, Imazeki F, Yokosuka O, Tanikawa K, Kage M, Yano H. Pathological characteristics of patients who develop hepatocellular carcinoma with negative results of both serous hepatitis B surface antigen and hepatitis C virus antibody. *Hepatol Res*. 2013

92) Akiba J, Nakashima O, Hattori S, Tanikawa K, Takenaka M, Nakayama M, Kondo R, Nomura Y, Koura K, Ueda K, Sanada S, Naito Y, Yamaguchi R, Yano H. Clinicopathologic analysis of combined hepatocellular- cholangiocarcinoma according to the latest WHO classification. *Am J Surg Pathol*. 37(4):496-505, 2013

## 2. 学会発表

1) 石橋大海, ほか. 第47回日本肝臓学会総会(口演). 東京 2011.6.3-4

2) 中牟田誠, ほか. 第97回日本消化器病学会九州支部例会. WS5-08. AASLD 2011.

久留米 2011.6.24-25.

3) 中牟田誠, ほか. 第15回日本肝臓学会大会. 肝P-299. 福岡 2011.10.20-21

4) 中牟田誠, ほか. 第97回日本消化器病学会九州支部例会. S2-06. 久留米 2011.6.24-25.

5) 中牟田誠, ほか. 第39回日本肝臓学会西部会. SY1-14. 岡山 2011.12.9-10

6) 矢倉道泰. TTV陽性NBC肝炎の一例. 第28回ウイルス肝炎懇話会. 栃木 2011.5.28

7) 矢倉道泰, 瀬尾 圭, 田中晃久, 上司裕史, 遠藤 仁, 富松昌彦, 朝井 章, 福井秀雄, 津田泰宏, 福田 彰, 樋口和秀. C型慢性肝炎に対する Peg-IFNα2a/Rib と Peg-IFNα2b/Ribの治療効果の比較. 第47回日本肝臓学会総会. 東京 2011.6.2

8) 矢倉道泰, 瀬尾 圭, 田中晃久, 上司裕史. C型慢性肝炎における肥満、肝脂肪化と血清HCV RNA量の関係. 第47回日本肝臓学会総会. 東京 2011.6.2

9) 矢倉道泰. C型肝炎におけるペガシス少量長期投与の意義について. 第8回Expert Meeting. 大阪 2011.9.10

10) 井利雅信, 瀬尾 圭, 田中晃久, 上司裕史, 矢倉道泰. US・EUS上、広基性で内部均一低エコーを呈する胆嚢癌の深達度診断. 第47回日本胆道学術集会. 宮崎 2011.9.16

11) 矢倉道泰, 瀬尾 圭, 田中晃久, 上司裕史. C型肝炎の病態に及ぼす肥満の影響. JDDW (第15回肝臓学会大会). 福岡 2011.10.20

12) 田中晃久, 瀬尾 圭, 井利雅信, 上司裕史, 矢倉道泰. ステロイド抵抗性潰瘍性大腸炎の一例(タクロリムス使用症例). 第6回三多摩 GI-Endoscopy 研究会. 東京 2011.11.10

13) 田中晃久, 瀬尾 圭, 井利雅信, 上司裕史, 矢倉道泰. 感染経路不明の急性E型肝炎の1例. 第52回三多摩肝臓談話会. 東京 2012.2.17

14) 北本幹也, 川上由育, 高野弘嗣, 相坂康之, 吉良臣介, 相光汐美, 大林諒人, 天野 始, 辻 恵二, 竹崎英一, 児玉英章, 守屋 尚, 荒滝桂子, 吉川正哉, 川上広育, 高橋祥一, 茶山一彰. HCV genotype 1b・高ウイルス量のC型慢性肝炎に対するPEG-IFN $\alpha$ 2a/RBV併用療法の成績. 一広島肝臓study groupによる多施設共同研究より. 第47回日本肝臓学会総会. 東京 2011.6.2

15) 川上由育, 高野弘嗣, 河野博孝, 辻 恵二, 相坂康之, 吉良臣介, 山科敬太郎, 野中裕広, 児玉英章, 高橋祥一, 守屋 尚, 北本幹也, 相光汐美, 中西敏夫, 川上広育, 茶山一彰. 1型高ウイルス量C型慢性肝炎に対するペグインターフェロンアルファ2bとリバビリン併用療法時のビタミンD上乗せ効果に関する検討多(施設共同RCT). 第15回日本肝臓学会大会. 福岡 2011.10.20

16) 辻 恵二, 川上由育, 川上広育, 高野弘嗣, 河野博孝, 相坂康之, 吉良臣介, 相光汐美, 荒滝桂子, 大石和佳, 伊藤博之, 北本幹也, 三浦敏夫, 大林諒人, 高橋祥一, 茶山一彰. 閉経後女性C型慢性肝炎患者に対するPeg-IFN $\alpha$ 2aあるいはPeg-IFN $\alpha$ 2bとリバビリン併用療法の無作為化比盲検比較試験の中間成績-広島肝臓study groupによる多施設共同研究より. 第15回日本肝臓学会大会. 福岡 2011.10.21

17) 鈴木幸二, 鈴木大輔, 塩賀太郎, 野登はるか, 松島昭三, 小松達司: ペグインターフェロン・リバビリン併用療法中にはHCVRNAが陰性化せず、コンセンサス・インターフェロン単独療法にて著効に至ったC型慢性肝炎の1例. 第316回日本消化器病学会関東支部例会. 2011.9.17

18) 太田 肇, 岡藤啓史, 高島 央, 関 晃裕, 小村卓也, 丸川洋平. IL28B遺伝子多型からみたC型慢性肝疾患に対するPeg-IFN+ribavirin併用療法の治療効果. JDDW2011 第15回日本肝臓学会大会. 福岡 2011.10

19) 都築智之, 岩瀬弘明, 島田昌明, 平嶋 昇, 日比野祐介, 渡邊久倫, 龍華庸光, 斎藤雅之, 玉置 大, 神谷麻子, 寺尾美咲, 浦岡正尚, 濱口元洋, 横幕能行, 藤崎誠一郎, 杉浦 互, 後藤秀実. HIV陽性の慢性C型肝炎例におけるPEG-IFN, RBV併用療法の成績. 第69回日本消化器病学会総会. 新潟 2010.4.23

20) 島田昌明, 岩瀬弘明, 都築智之, 日比野祐介, 龍華庸光, 玉置 大, 斎藤雅之, 神谷麻子, 横井美咲, 平嶋 昇, 後藤秀実. HBV/HIV重複感染例に対するTDF/FTCを含むHAART施行例の検討. 第15回日本肝臓学会大会. 福岡 2011.10.20

21) 杉 和洋. シンポジウム1. 地域連携クリティカルパスの現状と今後の課題: 肝炎・肝がん地域連携クリティカルパス-現状と今後の課題. 日本医療マネジメント学会第13回学術集会. 京都 2011.6

22) 上田奈々枝, 古川美由紀, 西山慎吾, 岩下えみ, 田中幸子, 杉 和洋, 平池美香子, 椿 裕子. 患者の視点に立ったインターフェロン地域連携クリティカルパスの改訂と運用. 日本医療マネジメント学会第13回学術集会. 京都 2011.6

23) 椿 裕子, 大野仁美, 近藤高弘, 立石容子, 石崎明子, 西山慎吾, 田中幸子, 平池美香子, 杉 和洋. 患者の視点に立った地域連携クリティカルパスの改訂~IFNパスポートを活用した管理栄養士の関り~. 第65回国立病院総合医学会. 岡山 2011.10

24) 杉 和洋, 田島知明, 吉成元宏, 小林起秋, 尾上公浩, 村尾哲哉, 中田成紀, 前田和弘. 肝炎・肝がん地域連携の現状と今後の課題. 第39回日本肝臓学会学西部会. 岡山 2011.12

25) Sachiko Ogasawara, Jun Akiba, Masamichi Nakayama, Osamu Nakashima, Hirohisa Yano. Antiproliferative effect of ME3738, a derivative of soyasapogenol, on hepatocellular carcinoma cell lines in vitro